

# いちのせきから ストップ温暖化

# eco 第8号

発行

一関地球温暖化対策地域協議会(IEL)  
平成22年3月15日

## マイカーの利用を減らし 公共交通への転換を！

現在、市内には公共交通としてJR、岩手県交通(株)と東磐交通(株)による路線バス、そして市営バスなどが運行されています。今回、この広報で公共交通を取り上げようと、それらのうちから最も運行回数の多い路線バス、一ノ関駅←→磐井・南光病院線に体験乗車してみました。

### 意外と便利な路線バス

2月10日(水)午前8時14分、花泉駅からJRに乗り込み、8時30分に一ノ関駅に到着し、40分のバスに乗車しました。(この時間帯は20分間隔で運行)ほとんど待つことなく乗客5人を乗せて一ノ関駅前を出発しました。途中一高前、市役所前、五代町でそれぞれ1人が乗車し、イオンスーパーセンターを経由して9時に病院到着、全員下車しました。9時20分以降、約30分間隔でバスが到着し数人ずつ下車、同じ間隔で一ノ関駅に戻るバスには5人以上が乗車し昼に近づくにつれ乗客が多くなっていました。帰りは別ルートで駅に向かおうと乗った12時発三関経由のバスには11人が乗車し、10分ほどで駅に着きました。

帰りのバスで2人の利用者にお話を伺いましたが、共に月に1度通院しているそうです。そのうちの1人は70歳くらいと見受けられる男性で運転免許証を持たず、大東町摺沢駅から一ノ関駅までJRに乗車し、その後この路線バスに乗り継いでいるとのことでした。もう一人の方は女性で市内大町から乗降しているとのこと、自家用車を利用しないで済む貴重な交通機関と話していました。他方、その時間帯に病院の駐車場には4、5百台の自家用車が

駐車していました。

ちなみに、この日の交通費は片道JRで230円、バス料金は200円の往復860円でした。

### 利用者が減少している公共交通機関

このように大事な交通機関でありながらも、岩手県交通(株)一関営業所管内の路線バスにおいては、この1年で1割の利用者減となっています。JRの主要4駅(一関、花泉、摺沢、千厩)の利用者も13%減少(H19年、対H12年比)し、市営バスの利用者は44%減少(H20年、対H12年比)し、いずれも人口の減少割合を上まわっています。

その原因はいろいろ考えられるでしょうが、以前に比較して高齢者でも運転免許証保有割合が高くなっていること、高校生が減り通学に利用することが少なくなっていることと推察されます。

### 通勤や買い物に公共交通の利用を

一人が移動するのに必要なエネルギー消費量は自家用車と比べると鉄道では1/10、

バスでは1/3とされています。エコドライブに徹することは無論のことですが、自家用車の使用を減らすことによって大幅に二酸化炭素の排出を削減できます。自宅が駅から遠い、勤務が遅くなるとバスがなくなるなどの課題も多いのですが、通勤や買い物に公共交通や自転車を利用することを真剣に検討してみましょう。事業者もマイカーを使用しない通勤者の優遇策を考えてみましょう。

### IELからのメッセージ

いつの間にか大型スーパーや病院が郊外に立地し、生活圏が拡張してきました。その結果「歩いて暮らす」ことからほど遠く、自家用車の利用が避けられなくなってしまいました。

石油はこれから40年で枯渇すると言われておりますので、自家用車の利用を減らすことが求められています。その意味でも、自家用車に頼ることの少ないコンパクトな街をどのように築いていくのかが問われています。利用しやすい公共交通のあり方や今後の地域社会の姿についての皆さんのご意見をお聞かせ下さい。そのご意見が公共交通機関の活力を取り戻し、高齢者などの交通弱者を支えることにもなるのです。



磐井病院前に停車している県交通バス「通院に欠かせない路線バス」

# 省エネ住宅にリフォームしてみませんか ～住宅版エコポイントがはじまりました～

家庭で最も多くエネルギーを消費するのが、暖房と給湯によるものです。中でも岩手県は寒冷地であることもあって灯油の使用量は全国平均の4倍以上となっています。灯油の消費量を減らし二酸化炭素の発生を抑制するには熱を無駄にしないことが必要です。そのためには日常生活での努力や暖房機器の性能もさることながら、なんと言っても住宅の断熱性能を高め「熱を逃さない住まい」を実現することが重要です。

今年度の政府の経済対策の一つとして、省エネに配慮したエコリフォームやエコ住宅の新築（省エネ住宅）へ最大30万円分のエコポイントがもらえる「住宅版エコポイント制度」がスタートしました。その概要を紹介します。

## 1 省エネ住宅とは？

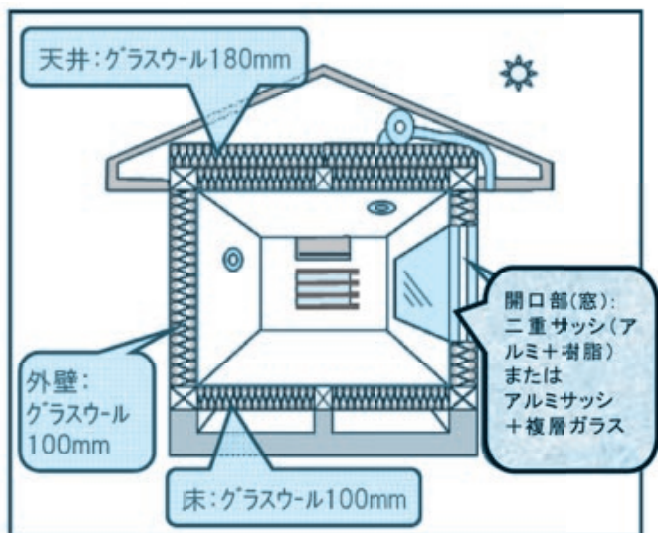
窓の断熱や外壁、屋根などの断熱を強化した住宅のことで、概ね以下のとおりです。

これらの工事を行うことにより、エコポイントの対象となります。

エコリフォーム	エコ住宅の新築
<b>①窓の断熱改修</b> 省エネ法に適合する複層ガラスなどへの交換。内窓の新設。外窓の交換。 <b>②外壁、屋根、天井又は床の断熱改修</b> 断熱性能が確認された、一定量の断熱材の使用が必要。 <b>③上記と併せて行うバリアフリー改修工事</b> 手すりの設置、屋内の段差解消、通路又は出入り口の幅の拡張。	<b>①省エネ法に基づくトップランナー基準<sup>*</sup>をみたす住宅</b> 外壁、窓の断熱と、給湯器などの省エネ設備を加え省エネ能力がアップしたものの。 <b>②省エネ基準(平成11年)をみたす木造住宅</b>

<sup>\*</sup>トップランナー基準とは、省エネ基準をみたす住宅で平成20年に比較し概ね10%省エネできる水準

## エコポイントの対象となる住宅のイメージ (戸建木造住宅：一関地域の場合)



<sup>\*</sup>省エネ基準は、旧市町村単位で異なります。詳細は住宅メーカー等にお問合せください。

## 2 エコポイントの対象期間は？

エコリフォーム	エコ住宅の新築
平成22年1月1日～12月31日に着工し、平成22年1月28日以降に完了したもの	平成21年12月8日～12月31日に着工し、平成22年1月28日以降に完了したもの

## 3 発行されるポイント数(1ポイント1円相当)は？

① エコリフォーム(1戸あたり300,000ポイント限度)

窓の断熱改修	内窓設置・外窓交換	7,000～18,000 ポイント
	ガラス交換	2,000～7,000 ポイント
外壁、屋根・天井、床の断熱改修		30,000～100,000 ポイント
バリアフリー改修 (手すりの設置、段差解消、廊下幅等の拡張) ※50,000ポイント限度		5,000～25,000 ポイント

② エコ住宅の新築：1戸あたり300,000ポイント

## 4 エコポイントを交換できる商品は？

省エネ・環境配慮に優れた商品、商品券・プリペイドカード(環境配慮型のもの、公共交通機関利用カード)、エコリフォーム又はエコ住宅の新築を行う工事施工者が追加的に実施する工事など(予定)

## 5 エコポイントの申請はどうするの？

エコリフォームでは、申請書に施工業者発行の工事証明書、領収書、物件の写真、確認書(住宅所有者の保険証、運転免許証の写し)を、窓の断熱改修をした場合はメーカーの性能証明書も添えて、エコポイント事務局に申請します。

新築の場合は、国交省登録の住宅性能評価機関等が発行するエコポイント住宅証明書が加えて必要になります。

※エコポイントの申請は、断熱改修時の住宅借入金特別控除などの税制特例や融資の優遇と併せてできます。

### 【ポイント申請期限】

エコリフォーム：平成23年3月31日

エコ住宅の新築：1戸建て 平成23年6月30日

共同住宅 平成23年12月31日

【ポイントの交換期限】平成25年3月31日

【住宅版エコポイントについての相談窓口】

電話 0570-071-077 ホームページ <http://www.mlit.go.jp>

# 有限会社大東交通サービス(市営バス大東)

## ～地域をむすび 夢をはこぶ 市営バス～

当社は、平成6年10月に旧大東町営バスの運転管理業務を受託し、通学や買い物、通院など住民生活の足として運行を開始しました。平日は10台のバスで89便、土日祝日は6台のバスで45便を運行して地域をむすんでいます。16年目を迎えた現在も市のご指導を頂きながら利便性の向上に努めています。

### 人と地球に優しい運転を



社員は、

- ①優しい気持ちで安全運転(乗降時の安全確認、急発進・急ブレーキ・急ハンドルのない運転)
- ②優しい気持ちで対応(親切な言葉遣いと態度、相手への思いやり)
- ③優しい気持ちであいさつ(明るいあいさつ、感謝の気持ち)の「優しい」

をキーワードにした3項目を運転接客の基本として頑張っております。

また、「地球温暖化防止」が叫ばれている昨今ですが、当社では、アイドリングストップの徹底や、運転中のエンジン回転数が必要以上に高回転にならないように注意するなど、社員一丸となって燃費向上に努めています。また、わかりやすくデータ(各車両の10分あたりの燃費や、毎月の燃費を前年同月と比較したもの)で示すことにより、社員のCO<sub>2</sub>削減意



識の向上に努めています。

更に、エアフィルターなど冷暖房に関わる部品を定期的に点検清掃し、いつも最良の状態で作るようにしています。

以上のような取り組みを続けながら、人と地球に優しい運転を心がけています。

### バスで出かけよう



市営バス大東では毎年、アンケート調査と乗降調査を実施し、利用者の声を直接聞いてダイヤ編成等に活かしています。中には、感謝の声に励まされ、また、お叱りの声に反省することも多々あり、試行錯誤の毎日ですが、利用者の皆さんに愛されるバスを目指して日々ハンドルを握っています。今後とも環境にも優しい公共交通・市営バス大東を是非ご利用下さい。お待ちしております!

(運行管理者 千葉勝哉)

お問い合わせ

☎72-2933

## 家計を助ける環境家計簿

～驚きの声が寄せられています～

eco第6号(9/15号)の環境家計簿はご存じですか!

電気やガスの使用量から家庭でのCO<sub>2</sub>の排出量が簡単に計算できるもので、これまで、多くの方に取り組みの結果を報告いただきました。

今回はその中から、特徴的な省エネの取り組みについてお知らせいたします。家計簿はまだまだ受付中です。多くの皆さんに組み込んでいただき、家計と地球を救いましょう。

### 報告者からの声を紹介!

- 環境家計簿をつけるだけで、省エネへの意識が高まり、実際に5%削減に成功しました
- 環境家計簿をつけていると、どこを減らせば良いのか見えてきます
- 生ゴミはコンポスト(市の補助金があります)を使用し、家庭菜園等の肥料として活用しました(ゴミの量が劇的に減りました)
- テレビを見る時間を決めました(家族のコミュニケーションが増えました)
- 近いところにはなるべく自動車を使わないようにしました
- 太陽光発電設備の設置やハイブリッド車を導入しました
- 家電製品を省エネ型に買い替え、電球を蛍光灯やLEDに替えました
- 買い物にはマイバックを持参しました
- 風呂の残り湯を洗濯だけでなく、水洗トイレにも利用しました

### 環境家計簿の学習会も企画できます

提出後、診断結果をお送りします。

また地域や団体などで環境家計簿についてももっと詳しく知りたい場合は、学習会の講師を派遣しますのでぜひご利用ください。

抽選で20名様に図書 締め切り  
カードが当たります! 平成22年1月～12月分 平成23年2月1日

## えこじょい ころぼ はたち ころぼ ecojoy X 20 X 温暖化協議会

1月10日に開催された成人式において、初の試みとして新成人自らが企画検討し行われた記念行事「ecojoy×20」では、「生まれ育った地域に恩返しをしたい」との思いから、地球温暖化問題を取り上げました。

プレゼンテーションでは、異常気象や飢餓などの原因の多くは私たちの生活にあることを訴え同世代の新成人たちにエコを呼びかけるものでした。

新成人で構成された成人式記念行事企画委員の方から地球温暖化の話が聞きたいと協議会に依頼があり、向かったのは、成人式まで1ヶ月と10日前の12月1日のことでした。「地域に対する愛情」と「恩返し」を成人式での記念行事を通じて仲間たちと共有し、市民に発信するためには何のテーマがよいのか。議論を重ね、この問題を取り上げることになったそうです。

どちらかと言えば若い人たちのほうが環境意識は低いのではないかと思っていた私にとって、新成人のみなさんがこの問題を取り上げたことはとても驚きでした。

短い時間ではありましたが、現状で起きているエネルギー枯渇や食料・飢餓の問題と私たちの生活との関連性について話し合いがなされ、真剣な質問も出て、とても充実したものでした。

夜遅くまで続いた前日のリハーサルを見せていただきましたが、彼らの成人式にかける意気込みはとても真剣ですばらしく力強いものでした。当日は新成人やご家族だけではなく、この一関に大きな感動を与えてくれました。

私たち協議会でもあなた方の若い力・若い感性が必要です。是非一緒に活動しましょう。(副会長 薄井信次)



# クルマと公共交通機関 などの賢い使い分けをめざして

～減クルマチャレンジウィーク in いちのせきが実施されました～

一関市と岩手県公共交通利用推進協議会では、CO<sub>2</sub>排出抑制と公共交通の利用推進を図るため、クルマと公共交通機関などの賢い使い分けに挑戦する「減クルマ」チャレンジウィークを実施しました。今回は、取り組みの結果についてお知らせします。



- 実施期間 平成21年11月9日(月)から15日(日)まで
- 参加状況 市内63事業所(参加者数2,677人)
- チャレンジの内容 日常生活行動(勤務体系や交通手段等の状況)に合わせて、「ムリなく」、「できる範囲で」、クルマの利用抑制にチャレンジしました。

## ●チャレンジの結果

### ①通勤中の減クルマ

クルマで通勤している方が、電車やバス、自転車、徒歩など環境にやさしい交通手段で通勤した結果、ガソリン換算でおよそ2000ℓの削減となりました。

また、取り組みの半数以上は、自転車や徒歩への転換となっています。

取り組み者数	抑制距離	ガソリン換算	CO <sub>2</sub> 換算
668人	19,808km	2,042.06ℓ	4,737.58kg

### ②私生活での減クルマ

買い物やレジャー等で出かける際、クルマの利用を抑制した結果、ガソリン換算でおよそ2600ℓの削減となりました。

取り組み者数	抑制距離	ガソリン換算	CO <sub>2</sub> 換算
907人	25,122km	2,589.90ℓ	6,008.56kg

また、取り組みの3割が買い物時の抑制となっており、普段の心掛けが大きな効果を生み出す結果となりました。

## ③ドライブ中の減クルマ(エコドライブ)

ふんわりアクセルやアイドリングストップなど、エコドライブによりおよそ20%の燃費改善が期待できます。のべ10,000回の運転時、エコドライブに取り組みました。取り組み期間中、およそ11トン(1軒の家庭から排出される量の733日(約2年)分)のCO<sub>2</sub>排出を削減しました。

## ●取り組み者の声

●徒歩で移動してみると、普段気にしていない風景に気づいた。また、近所の方々との久々の会話に花が咲いた。体にも心にも刺激を与えることができた。●天気の良い日に近くへの買い物を車から自転車に変えてみたら意外と気持ちいいことがわかった。便利さに頼りすぎた生活を見直すきっかけになったと思う。●通勤距離が長いので利用を抑制するのは難しいが、アクセルを踏む回数が少なくなるよう、いつもより早目の“ちょい早出勤”を心掛けた。●夫婦でひとつのクルマを利用し、帰りに保育園に夫婦で迎えに行ったので、子どもたちも大喜び。エコも家族コミュニケーションも花丸だった。

## ●これまでの取り組みを家庭や地域に

減クルマやエコドライブを意識するきっかけとなったこの取り組み。実際にCO<sub>2</sub>も削減されたようです。チャレンジは終了ですが、各々継続して行うことが望まれます。今年をもっと多くの事業所に参加いただき、全市民で減クルマを考え、実践してみましよう。

## 市長に対し施策提言書を提出

2月5日、会長以下5名の役員が、地域の温暖化対策を行政との協働で一層推進しようと、勝部市長に対し施策提言書を提出しました。

その内容は、太陽光発電設備設置者への市独自の補助金の創設、庁舎・学校・公民館などへの新・省エネルギー設備の導入促進、間伐材や公共事業の実施に伴う支障木などを木質

### 提言内容

- 1 日中点灯の街路灯への対応およびLED照明の設置促進
- 2 太陽光発電設備への補助の創設
- 3 木質バイオマスの積極的な活用
- 4 公共施設等への新・省エネ設備の導入
- 5 地球温暖化対策に関する学習の推進

バイオマスとして利用する仕組みの構築など、温室効果ガスの排出抑制に直接つながる取り組みを中心に提言しました。

協議会では地域の温暖化対策をより一層推進するため、引き続き効果のある施策の提言と、実効性のある活動を展開して参ります。



## 図書館の寄贈

協議会では、皆さんに地球温暖化対策の必要性をご理解いただくための取組みの一つとして、毎年、市内の図書館に対し図書を送っています。今年度は、以下の図書を寄贈いたしました。ぜひ図書館に足を運び、ご覧ください。

- ◇1日1センチの改革 (鈴木 武著/到知出版社)
- ◇地球の法則と選ぶべき未来(ドネラ・H・メドウズ著/講談社)
- ◇エネルギー危機からの脱出 (枝廣淳子著/ソフトバンククリエイティブ)
- ◇つながりを取りもどす時代へ (枝廣淳子監訳/大月書店)

## 薪ストーブ LIFE を体験してみませんか

～国の補助説明会と薪割り体験を開催します～

協議会では地球温暖化の進行やエネルギーの枯渇など、化石燃料への依存による弊害からの脱却を進めようと、薪・ペレットストーブの設置を考えている地域の方々を取りまとめ、国へ補助金申請を行うこととしています。

その内容は、薪ストーブなどを地域でまとめて導入する場合、費用の3分の1(上限20万円)を設置者に補助するというもので、この2年間で27件の方に交付しています。

今後、設置を予定されている方へ補助事業の説明とともに、ストーブや薪の特性、ストーブを利用した調理の楽しみ方、薪割り体験など、ストーブのある暮らしの魅力も併せてお伝えします。

- 日時 平成22年3月28日(日) 午前10時30分から正午まで(薪割り体験も希望される方は午後3時まで)
- 場所 市内滝沢地内(一関東中学校付近。参加申込みをいただいた方へ後日連絡します)
- 内容 補助事業説明、薪やストーブの特性、薪ストーブを利用した調理の楽しみ方、希望者のみ薪割り体験会(昼食は各自)
- 問合せ・申込み 3月25日(木)まで事務局(市役所生活環境課 担当 飯村昌弘:21-8342)へ電話

### 編集後記

COP15 が開催された後の編集でもあったのに、あまりの成果のなさに記事に出来ない悲しさを感じます。温暖化を含む環境問題は科学であり、対策を決めるのは科学ではなく政治であり、政治を決めるのは経済的なのでしょうか。今回の COP15 はそんなことを考えさせられました。反面、成人式の記念行事では若い力がこれからの世の中を変えていく、そんな事を感じさせてくれました。そんな彼らを応援するような情報を発信していきたいと思えます。(薄井信次)

### 新たに会員が増えました — 千厩高校 —

企業・団体 29 個人会員 63 (平成22年3月1日現在)

## 『一関地球温暖化対策地域協議会』 会員募集!

みなさんのアイデアを活かしてみませんか? ●入会方法・お申し込みは事務局まで(21-8342) ●年会費 個人500円、企業・団体一口5,000円